

## 船舶事故調査報告書

平成23年9月8日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲 也

委員 石川 敏 行

事故種類	衝突（消波ブロック）
発生日時	平成23年2月6日（日） 16時25分ごろ
発生場所	福岡県福岡市博多港第3区 博多港西公園下防波堤灯台から真方位244° 1,600m付近 （概位 北緯33° 35.8′ 東経130° 21.7′）
事故調査の経過	平成23年2月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ ブラックパール、0.1トン 290-60468福岡、個人所有 2.85m (Lr) × 1.06m × 0.43m、FRP ガソリン機関、180kW、平成20年7月
乗組員等に関する情報	船長 男性 26歳 特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成20年3月14日 免許証交付日 平成20年6月20日 （平成25年3月16日まで有効）
死傷者等	軽傷 1人（船長）
損傷	船首部に破孔（浸水し全損処理）
事故の経過	本船は、船長が同乗者1人を後部座席に乗せ、福岡市伊崎漁港の北西沖にある防波堤南側の水路を同防波堤の幅約20mの切れ間に向けて約15ノットの対地速力で西進中、船長が右後方を向いて同乗者と会話を始め、前方の見張りを行っていなかったため、同防波堤の切れ間にある消波ブロック（以下「本件消波ブロック」という。）に向けて接近していることに気付かずに航行し、平成23年2月6日16時25分ごろ、本件消波ブロックに衝突した。 船長及び同乗者は、衝撃により落水し、船長が足と肩に打撲を負った。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西南西、風力2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期
その他の事項	船長は、月1回程度の遊走経験があり、本件消波ブロックの存在を知っていたが、本事故時には失念していた。 本件消波ブロックは、本事故当時、約1.0～1.5m海面上に出ていた。 船長及び同乗者は、ウェットスーツ、ウォーターシューズ及び救命胴衣を着用していた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、伊崎漁港の北西沖にある防波堤南側の水路を同防波堤の切れ間に向けて西進中、船長が、右後方に向けて後部座席の同乗者と会話を始め、前方の見張りを行っていなかったことから、本件消波ブロックに向けて接近していることに気付かずに航行し、本件消波ブロックに衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、伊崎漁港沖の防波堤南側の水路を同防波堤の切れ間に向けて西進中、船長が、右後方に向けて後部座席の同乗者と会話を始め、前方の見張りを行っていなかったため、本件消波ブロックに向けて接近していることに気付かずに航行し、本件消波ブロックに衝突したことにより発生したものと考えられる。	
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・常時適切な見張りを行うこと。	